

## 研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12 の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR21016
1 研究課題名	サージカルマスクが吸入酸素濃度に及ぼす影響
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 麻酔科 白石 としえ 研究分担者 麻酔科 若菜 秀美
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2022年3月31日 情報等調査期間 開始：2021年4月1日～ 終了：2022年3月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	<背景と目的> 2020年以降、COVID-19の急速な拡大に伴い、感染防御のために様々な医療行為が暫定的に変化しました。麻酔科領域においては医療者ができるだけ患者の呼気に暴露されない対策が大きな柱ですが、その一環として、サージカルマスクを患者に付けたまま全身麻酔を開始することが推奨されるようになりました。しかしその方法で、適切そして安全に酸素投与がなされているのでしょうか。私たちはサージカルマスクを介した酸素投与において、マスクの内側と外側で酸素濃度に差があるか、適切な濃度の酸素が投与されているかを調査します。<方法> 当院で静脈麻酔薬を全身投与し、自発呼吸にて手術を行った患者様が対象です。サージカルマスク（不織布）の上に酸素マスクを装着し、サージカルマスクの外側、内側にサンプリングチューブ置き、バイタルモニターにて酸素濃度を観察し記録します。観察ポイントは、①手術開始前、②手術開始5分後、③手術開始10分後、④手術開始15分後、の4点で評価しました。これらはいずれも通常の麻酔診療を逸脱するものではありません。
5 研究の対象 となる方	2020年4月1日～2021年3月31日まで 静脈麻酔薬を全身投与し、自発呼吸にて手術を行った患者様
6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u>	上記4に記載。
7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類（項目）</u>	電子カルテから、術前身体情報と麻酔方法の情報を閲覧、解析します。患者様氏名、カルテ番号、生年月日など個人を特定する情報は用いません。
8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u>	上記2と同じ範囲の者
9 <u>試料・情報の 管理責任者</u>	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 〒102-0084 東京都千代田区二番町7-7 四谷メディカルキューブ

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。